

☆ 一人は万人のために、万人は一人のために ☆

新春を迎え、全国の組合員・役職員各位をはじめ、関係業界、団体各位のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げるとともに、平素の温かいご協力に対し、衷心より感謝の意を表するものでございます。

現在国内では、格差が広がっています。先進国と呼ばれる日本ですが、所得格差は徐々に拡大しており、日本の相対的貧困率は15.6%で、国民の6人に1人、約2,000万人が貧困ライン以下での生活を余儀なくされています。この傾向は、新型コロナウイルスの影響でさらに深刻化しており、生活困窮者が家計の再生を図り、自立するための支援を行うことが喫緊の課題となっています。

また、我が国では、地球温暖化の影響に伴う集中豪雨や大規模地震の発生が大きな脅威となっており、全国のいつどこで自然災害が発生してもおかしくない状況です。昨年も前線に伴う大雨などの大規模災害が発生し、居住していた住宅が損壊するなどの被害が相次ぎました。被災された組合員には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。この中で、私たちは「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅などの生活拠点が抱えているリスクを把握しておく必要があります。

一方、生協事業に関連のある保険業界は、温暖化に伴う熱中症、感染症あるいは台風などによる水害発生に伴う保険金支払額が増加しており、さまざまな要因による保険収支への影響を分析し、リスク管理モデルの構築による定量化に向けた取組みを推進しています。その中で共済団体には、いかにしてこれらのリスクを低減し、組合員による事業利用を通じて組合員に奉仕するという大きな役割が求められています。

こうしたなか本年は、「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念に立ち返り、共済制度の価値と職域社会で果たす可能性、役割を広げるとともに、相互扶助を広く発信する必要があると考えています。また、危機管理体制の適切な実施と内部統制・コンプライアンス体制の徹底を図り堅実な運営に努め、ひとりでも多く共済事業への参画を求めてまいります。

本年も、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健康とご多幸を心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。